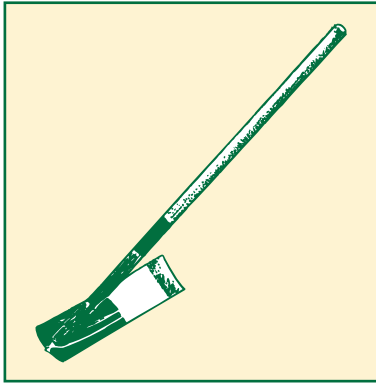


園芸用具の使い方

鍬

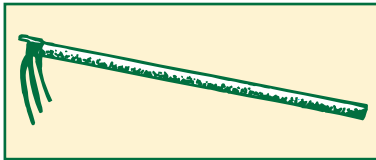
●大正鍬

耕すというより畝づくりや畔めり等の土寄せによく使われています。これを小型にしたものが家庭鍬で、家庭菜園でよく使われています。



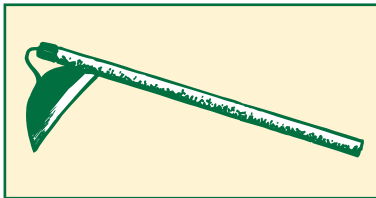
●唐鍬

柄や刃先が強くてできるので、田畑の開墾に使われます。刃と柄の角度が60~85度と大きいので、刃先を土に打ちこんで土を起こしやすくなります。



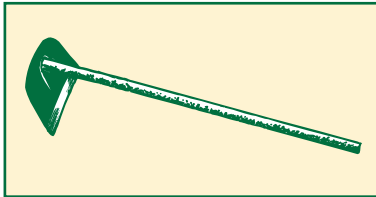
●三本鍬・四本鍬

唐鍬と同じように田畑の開墾に使われます。



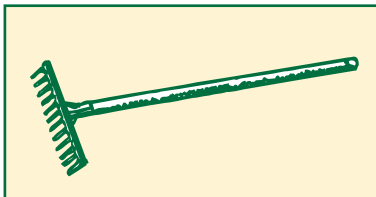
●立鎌(草かきホー)

草かきや土寄せに使います。



●ジョレン

土や砂、小石をかき寄せる道具で、立鎌の代わりにも使われます。



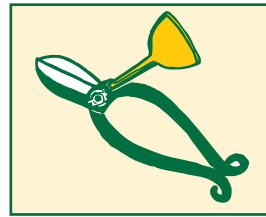
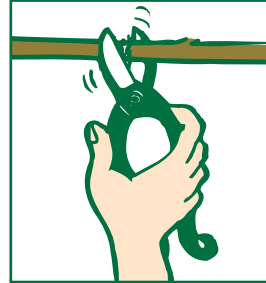
●レーキ

庭造りや畑の地ならし、グラウンド、ゴルフ場の整備に使われます。12本爪、14本爪、熊手、ローンレーキ等の種類があります。

ここがポイント!

鍬の上手な使い方

- 太めの枝を切るときは刃元で切り、刃先では切れる太さの3分の1以下の細い枝を切るようにしましょう。
- 枝が一気に切れない場合は、左右によじらずに、鍬をくわえたまま、少し力を入れて、鍬を回すようにしながら徐々に切っていきましょう。
- 最初使用する前に柔らかい草やワラを切って、刃先を慣らすようにしてから切りましょう。
- 使った後はヤニをとり、カシメ部分や刃全体に油を塗っておくと長持ちします。



サービスのご案内



配送・ベカン便 切り売り商品 修理



返品・交換 表札・額の受注 スペアキーづくり

●クレジットもご利用になれます。



制作発行 / 株式会社セキチュー 販売促進部
〒370-1201 群馬県高崎市倉賀野町4531-1

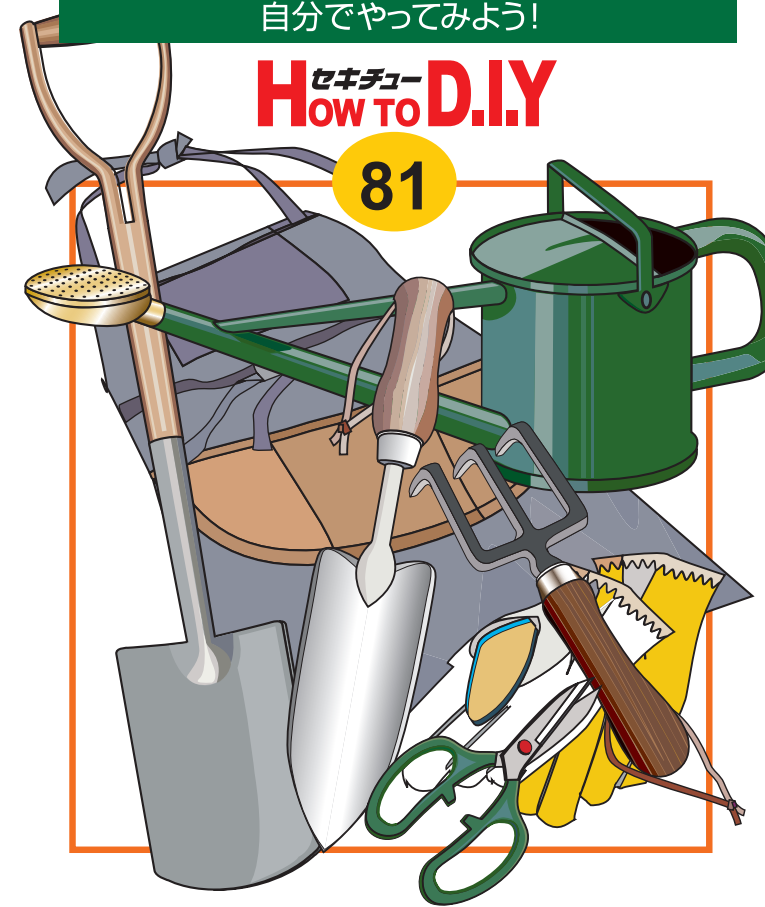
TEL.027-345-1111(大代表)

園芸用具の基礎知識

自分でやってみよう!

セキチュー
How to D.I.Y

81

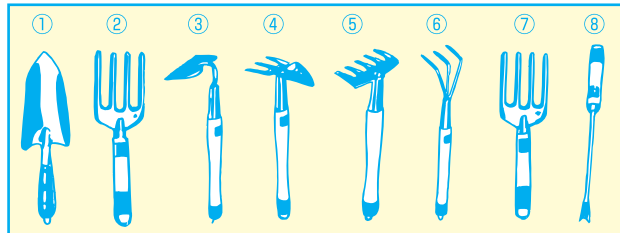


マイホームを持つとやりたくなることのひとつにガーデニングがあります。でもいざと思っても何から手をつけていいのか迷います。植物を買ってきたのはいいけれど、用具をどのように使えばいいのか分かりません。ここでは基本的な園芸用具を取り上げて、その使い方を説明していきます。すでに始められている方も、その正しい使い方、便利な使い方を知る参考にしてください。

園芸用具の使い方

家庭園芸向きの小さい土農具

- ① 移植ゴテ……鉢の土の入れ替えに
- ② フォーク……苗の定植や中耕に
- ③ ハンド・ホー……花壇の草刈りに
- ④ ホーレーキ……除草や浅く耕すとき(中耕)や土を砕くとき、苗の定植に
- ⑤ ハンドレーキ……浅く耕したり、整地に
- ⑥ 三本爪レーキ……花壇の軽い除草と表面をならすときに
- ⑦ 根起こし……苗の植えかえに
- ⑧ 根切り……雑草取りに



鎌

《鎌の選び方》

薄鎌……春から夏ごろの柔らかい草を刈るときに
 中厚鎌……夏の土手の草——ヨシ、ススキ等の太い雑草を刈るときに
 厚鎌……山の下刈り、雑木刈り、小枝切りなどに

《鎌の種類》

草刈り鎌
 草刈り用で、薄刃(草刈り)、中厚刃(小枝払い)、厚刃(枝払い)等の種類があります。

三日月鎌

草刈りや稲刈りに使われます。草刈り鎌と同じように薄刃、中厚刃、厚刃と分かれています。

鋸鎌

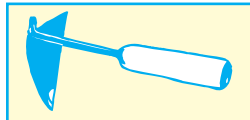
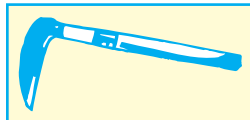
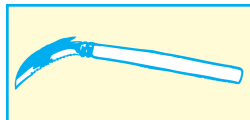
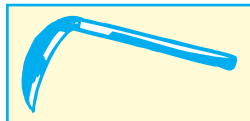
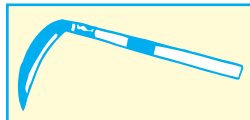
刃先が鋸状になっているので、稲などの少し固い株植えの植物の茎の切断や縄も切ることができます。木柄と刃の角度も広く(約150度)鋸のように引いて切ることができます。

小鎌

刃渡り8cmほどの除草用の小さな鎌です。

ネジリ鎌

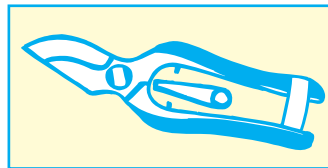
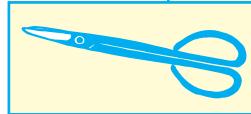
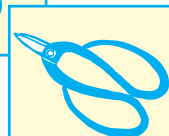
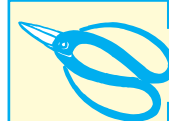
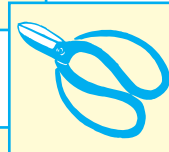
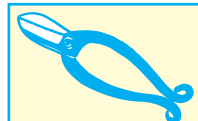
刃の部分が柄に対してねじれています。握り手と地面の間に空間ができるので、手をあまり痛めず、腕や肩にかかる負担も軽くなります。関東地方では首が長いものが多く使われています。



園芸用鋏

●花鋏

・池の坊タイプ……生け花で全国的に使われている鋏で、刃元で切る枝の太さは10mm以下に。
 ・古流タイプ……生け花の古流派が使っています。また花屋さんでも輪がついていて使いやすいということで、広く愛用されています。切る枝の太さは10mm以下に。



●木鋏

・大久保鋏……庭木の手入れでよく使われているもので、10mmぐらいの枝の剪定に使われています。
 ・盆栽鋏……昔からある盆栽用の万能タイプで、7mm以下の枝の剪定に。さらに小さいミニ盆栽鋏は、葉を刈る場合やヤニや渋が強く、幹の柔らかいものを切るときに使います。切る枝の太さは5mm以下に。
 ・さつき鋏(小枝切鋏)……こみいって不要になった小さな枝を剪定する、細い枝専用の鋏で、5mm以下の枝に。

●剪定鋏

受け刃は三日月型になっているので、切るものが逃げないという特徴があり、パネで刃が開くので、果樹の枝下ろしや、庭木や草花の切りこみに使われます。

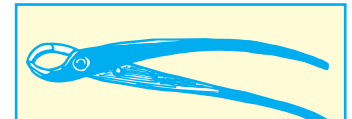
●又枝切鋏

盆栽の不要な枝をつけ根から切り、切り口を残さず自然な形で幹から枝を切り落とすことができる鋏です。



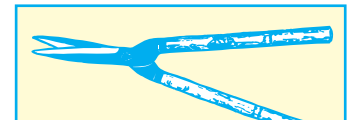
●コブ切鋏

細い枝やコブ等を、幹より内側に丸く切り取るので、切り口を残さないで切ることができます。



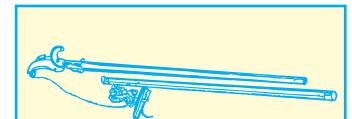
●刈込み鋏

生け垣の刈込みや茎の手入れなどに使います。刃先が鋭いものは葉刈り、芽切り、小枝切り等の細かい作業に優れています。また短い柄のものは高所での刈込みに便利です。植木の仕上げは門型の刈込み鋏で。



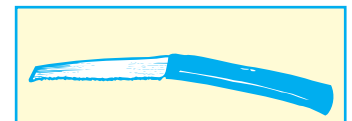
●高枝切り鋏

手の届かない高い木の枝を切ったり、果樹の実を穫ったりするための鋏で、大きい庭木や街路樹の手入れにも使われます。



●剪定のこ

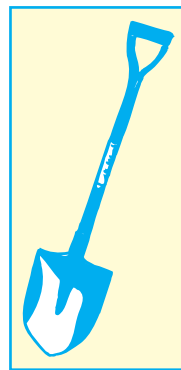
鋏ではありませんが、鋏では切れない太い枝の剪定に使われます。刃は折りたたみ式と固定式があります。



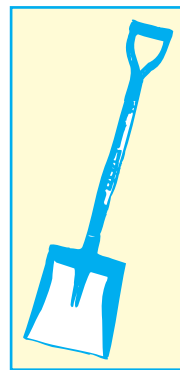
スコップとショベル

厳密にいうと、ショベルは掘る道具で、スコップはすくったり、運んだりする道具で、ふたつは違うものですが、一般的には同じように考えられています。

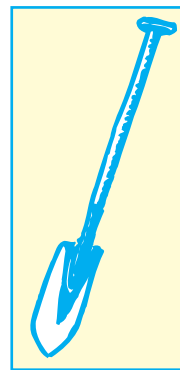
丸型ショベル(剣スコ)
 掘ったりすくったりできる万能タイプで、先が尖っているので、“ケンスコ”と俗に呼ばれています。



角型ショベル(角スコ)
 主にすくうための道具ですが、柔らかい土を掘ったりセメントを混ぜたりするのに使われます。



エンビ
 柔らかい土の溝掘りや穴掘りに使います。



農業用フォーク
 堆肥や干し草などをすくったり、積んだりするときに使います。

